

小竹だより

練馬区立小竹小学校 校長 瀧嶋 克己



平成28年度冬休み号

No. 504

すごい！ 全校児童「虫歯0」

校長 瀧嶋 克己



【6年保健学習の様子】

今年一年の世相を表す漢字が「金」になりました（日本漢字能力検定協会参照）。リオオリンピック・パラリンピックの感動と4年後の東京オリンピック・パラリンピックに希望を託した「金」なのでしょうか。皆様は、今年一年を漢字一字で表すとどんな漢字になりますか。

さて、5月に歯科検診を行いました。治療が必要な児童には用紙が配られます。用紙を持ち帰った児童は、今年全員が歯科医院で受診し完了届けを持参しました。虫歯がなかった児童・虫歯を完治した児童には、練馬区から「よい歯のねり丸」缶バッジがもらえます。今年は、全員に配ることができました。「これは、すばらしい」と思い、全校朝会でも話をしました。

私が子供の頃は、今よりも虫歯のある子が多くいたように思います。また、歯科医院に行く時は、頬が腫れるくらい痛くなってから、しかたなく通院したものでした。「削って、詰める」「抜く」などの治療から根の治療を丁寧に行い

今ある歯をなるべく残すことなど治療の仕方も数十年前に比べ大きく変化しているように思います。そして、治療だけでなく、歯磨き指導や歯垢の除去など予防にも力を入れています。

また、ご家庭でも朝晩の歯磨きを習慣化していただいたり、小さい頃は大人が仕上げ磨きをするなど、関心の高さが「虫歯0」につながったのだと思います。練馬区の児童の治療費負担も大きいです。

12月8日（木）に歯科校医の荒川桂一先生をお招きし6年生の保健学習を行いました。毎年この時期に6年生が行っています。主にデンタルフロスの使い方です。専用のフロスを使い、歯間の汚れを落とす学習をしました。学校では、給食後時間を決めて全員に歯磨き指導をすることは難しいのですが、昼休みなど個々が歯を磨くことはできます。ご家庭の判断で歯ブラシをご用意してくださって結構です。

「80歳になっても20本以上自分の歯を保とう」という8020（ハチマルニイマル）運動があります。小学生の児童が80歳になったとき20本以上自分の歯を保ってほしいと願います。

最後になりましたが、保護者・地域の皆様方には、この一年様々な場面で学校を支えていただきました。ありがとうございました。

これから寒い日が続きますが、健康に留意され、よいお年をお迎えください。

